

小山敬三美術館の企画展で富岡鉄斎の名品が展示されています

小山敬三美術館で開催中の企画展「小山敬三と小諸のまち展」で日本画の大家 富岡鉄斎（とみおかてっさい）の名品「同爨永昌」（どうさんえいしょう）が特別公開されています。富岡鉄斎は明治から昭和にかけて活躍した画家で海外でも高い評価を得ています。画題は同じかまどで炊いた食事をたべることで一家団欒の様子を表しています

■詳細情報

展示日

令和4年 7月 1日（金）から
令和4年 8月31日（水）まで

場所

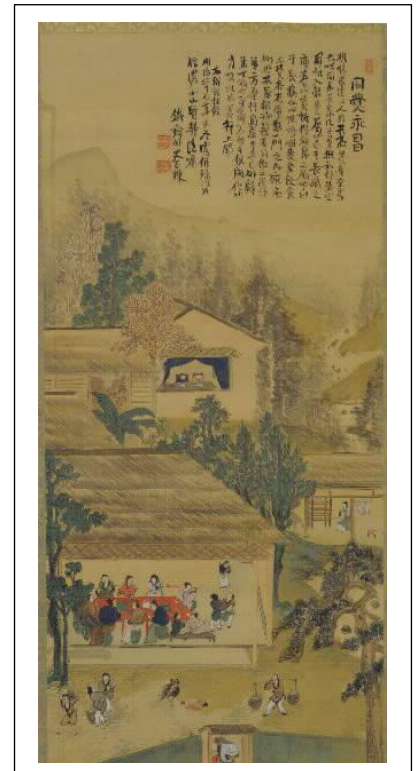
小諸市立 小山敬三美術館 第二展示室
開館時間 9時から17時
期間中無休

内容

近代日本画の巨匠、富岡鉄斎（1836-1924）は「最後の文人画家」といわれ、古典から学んだ独自の画風は国内外で高く評価されています。小山敬三の父小山久左衛門は21歳で京都に遊学し、叔父の紹介で鉄斎と知り合い心服します。小山敬三は子供の頃から家にあった鉄斎の作品に親しみ、後年の作品にその影響が見られます。今回特別公開される作品は1896年の作で鉄斎が久左衛門に贈ったものです。中国の故事に倣った主題の細密画で鉄斎の作品の中でも評価が高いものです。

その他

企画展「小山敬三と小諸のまち展」は11月27日までです



■問い合わせ先

小諸市立 小山敬三美術館 担当：中嶋 慶八郎
Tel 0267-22-3428 Eメール keizo@city.komoro.nagano.jp

その他のイベント・お知らせ情報

7月10日（日）から9月25日（日）までは、小山敬三記念館（アトリエ）が毎日開館しています。